



2019年8月期3Q決算説明資料

日常に&を届ける

日常にあるものに新しいIdeaを加えることにより、
人々の生活を豊かにするサービスを提供してまいります。

Business



Smartphone
APP



IoT



更なる飛躍のため

東京証券取引所市場第一部を目指す

より一層の企業規模の拡大と
コーポレート・ガバナンスの
強化を推進し、
名実ともに日本を代表する
企業を目指します。

社会的な認知や信用力の向上、
資金調達手段の多様化などにより、
企業価値向上を図ることを
目的としております。



東京証券取引所市場第一部へ向けた コーポレートアクションの実行

東京証券取引所市場第一部へ向け、企業価値向上を目的として、
複数のコーポレートアクションを実行。

資本業務提携

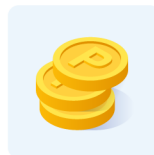
SQUARE ENIX

×

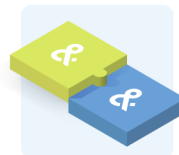
& and factory

当社の株式4%を取得し、
大株主に。

流動性向上・株主数増加



株主優待の導入



株式分割の実施

資本業務提携の狙い①：マンガ領域の成長加速

今回の資本業務提携をきっかけとして、マンガアプリの中で国内最大級にまで成長した「マンガUP!」において、成長を更に加速させるために両社で様々な施策を展開。

国内最大級のマンガアプリ!
マンガUP!
800万DL突破!!
最新作品 & 超有名作品 100作品超!
ARAGI/UP
命がけのゲーム! だっだ
ゴガンズレイヤー
花子く
新連載
現代最強!
ガンガンチャンネル
今日の更新 (金曜日)
SQUARE ENIX

マンガUP!

マンガ領域での更なる深い提携

©2017-2019 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.

資本業務提携の狙い②：ゲーム領域の新規取組み

and factoryの新たなチャレンジとして、

『ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス』において、初のコンパニオンアプリ(公式ガイドアプリ)である『ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス デジタル アルティマニア』の開発及び運営を実現。



▶ 公式ならではの多彩なコンテンツ

『FFBE』本編と連携することで、他の攻略アプリでは実現できないユーザー体験を創造

▶ 相互送客によるユーザー数最大化

全世界3,900万ダウンロードを誇る『FFBE』本編との相互送客によりユーザー数を最大化

▶ 月額課金による収益を積み上げ

コンテンツの差別化と相互送客により高い継続率を実現し、安定収益を生み出す

『FFBE』本編と連携して楽しめる進化したアプリ版“アルティマニア”

株主優待・株式分割

東京証券取引所市場第一部への変更に向け、更なる株主数の増加と流動性向上を目的として実施。また、認知度を拡大し、個人投資家を増やすことで長期保有株主数を増加させ株価安定を目指す。

株主優待

持ち株数に応じて
ポイント還元



ポイントを好きな商品と交換

- ✔ 株主への還元
- ✔ 投資魅力向上

株式2分割



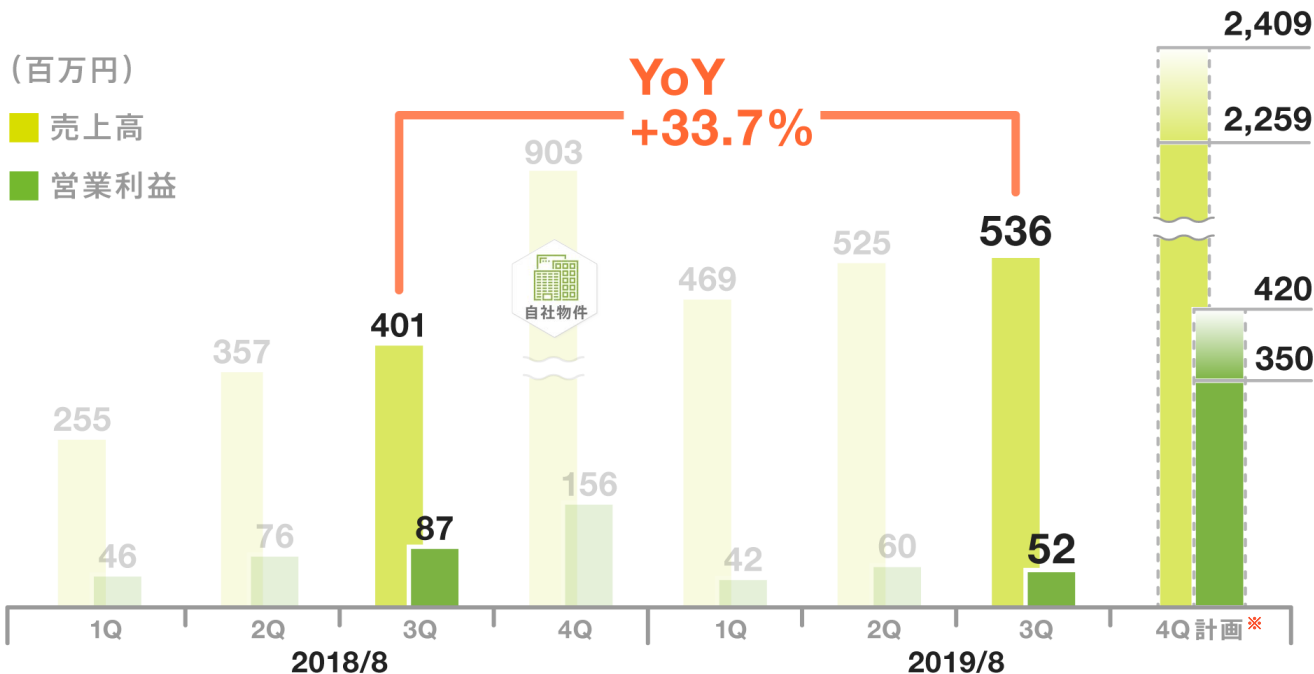
- ✔ 流動性向上
- ✔ 投資家層拡大

目次

1. 業績ハイライト
2. Smartphone APP事業
3. IoT事業

売上高/営業利益推移（四半期）

自社物件販売を行った四半期は除き、過去最高四半期売上高を更新。
営業利益は、アプリ開発の完了時期の変動（6月に開発完了）により
前年同期比では減益。通期達成に向け、想定通り進捗。



業績ハイライト（第3四半期会計期間）

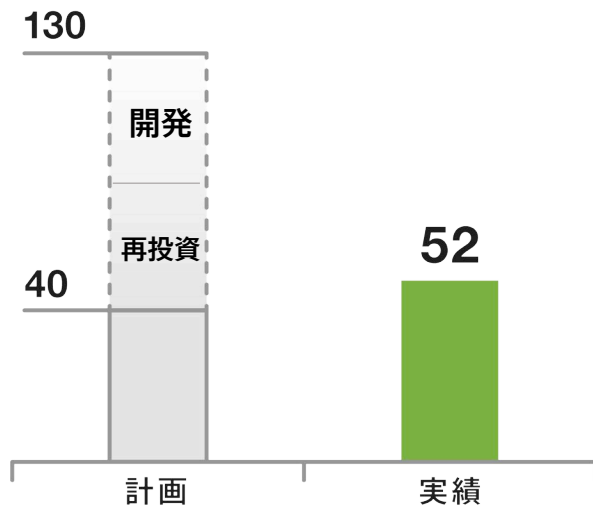
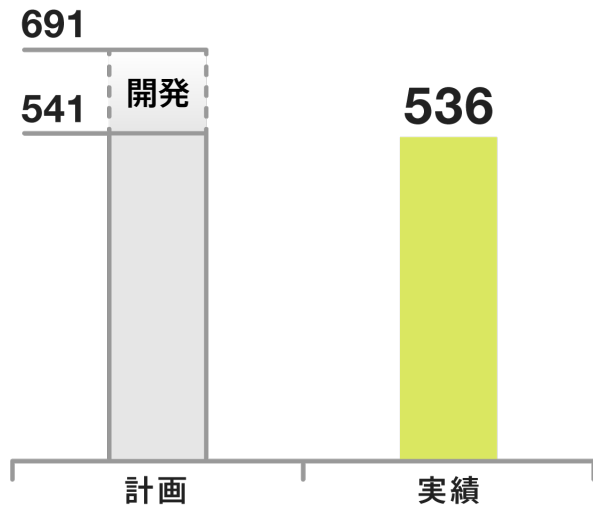
アプリ開発の完了時期の変動（6月に開発完了）もあり、先般開示した業績レンジにおいて、営業利益は再投資とのバランスでレンジ内で着地。

売上高

536 百万円

営業利益

52 百万円



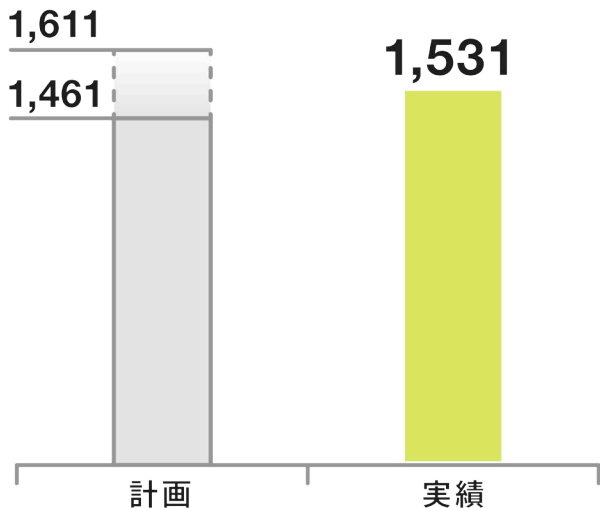
業績ハイライト（第3四半期累計期間）

売上高及び営業利益は共にほぼ計画通り進捗しており、営業利益に関してはレンジの上限を上回って着地。

売上高

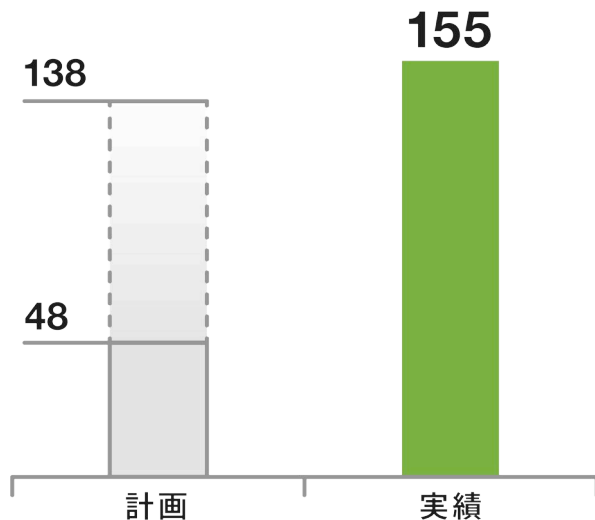
1,531

百万円



営業利益

155 百万円



Smartphone APP

Smartphone APP 提供カテゴリー

& AND COMICS

出版社オリジナルタイトルを多数揃えた
出版社のオリジナルマンガアプリ



提供：スクウェア・エニックス



提供：白泉社



提供：集英社



提供：ビーグリー



COMING SOON

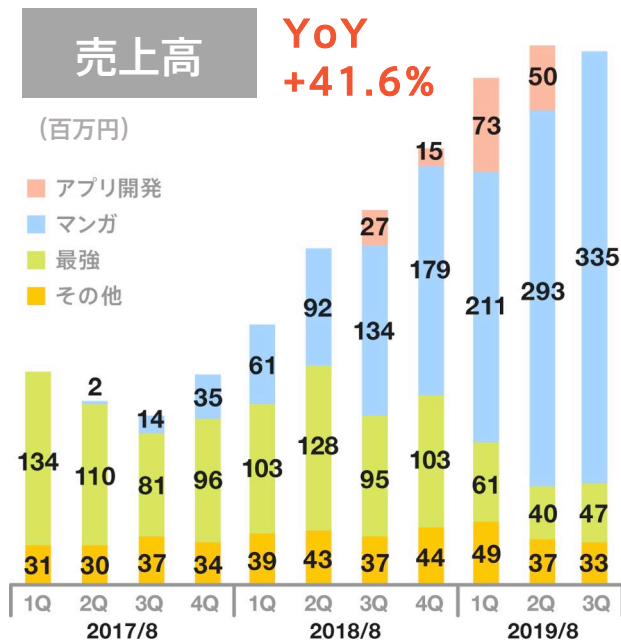
& AND APPS

ソーシャルゲームの攻略及びマルチプレイの
パートナーを募集する掲示板アプリ『最強シ
リーズ』やその他新規アプリ

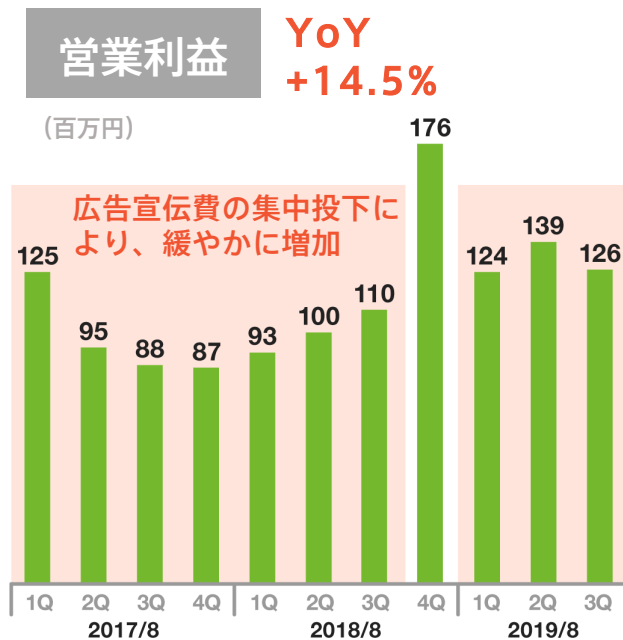


売上高/営業利益推移（四半期）

売上高は過去最高を更新（一過性のアプリ開発売上を除く）。
3Qも広告宣伝費の集中投下を継続したため、営業利益は前年同期比で緩やかに増加。

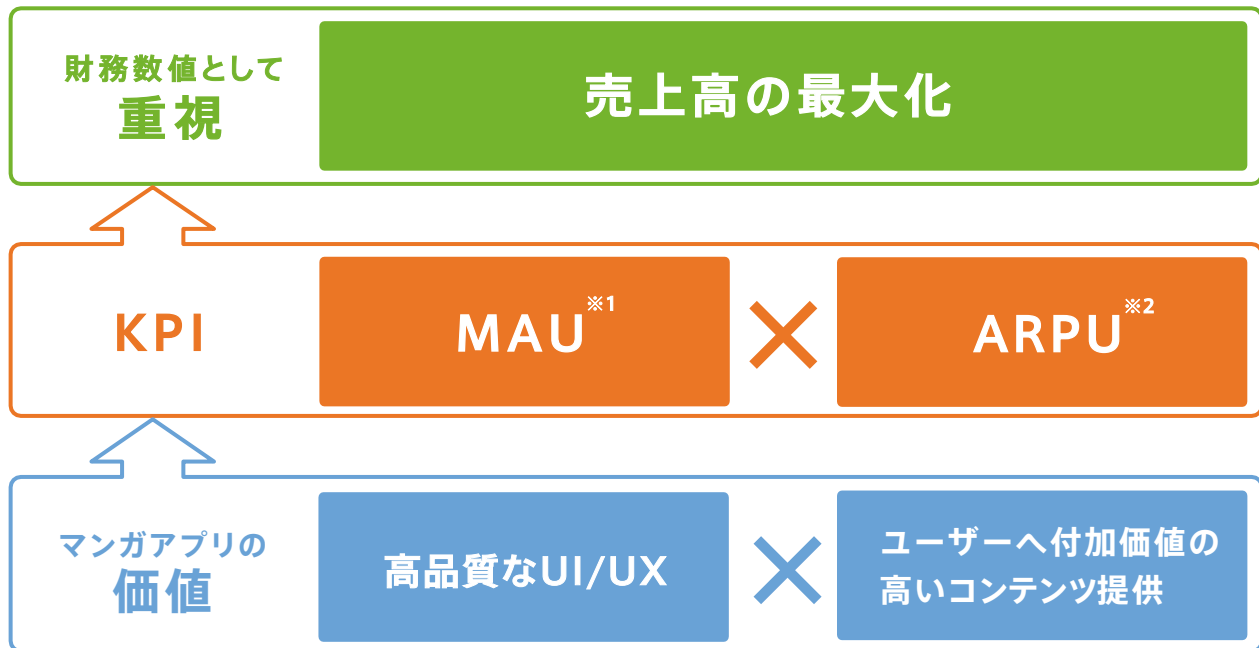


※アプリ開発は、初期開発に関する制作費等



マンガアプリ成長の源泉（KPI）

MAUとARPUの2つのKPIを成長させることにより、売上高の最大化を実現する。



※1 Monthly Active Userの略称であり、1ヶ月に一度でもアプリを利用したユーザーの数を指します。

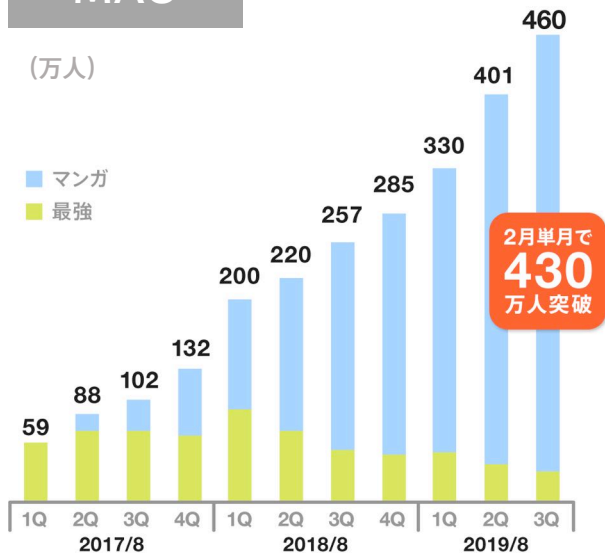
※2 Average Revenue Per Userの略称であり、ユーザー一人当たりの収益単価であります。

KPIの推移

広告宣伝費の継続投下により、MAUが続伸。効果的なコンテンツ運用施策が奏功し、ARPUも高水準を維持。

MAU

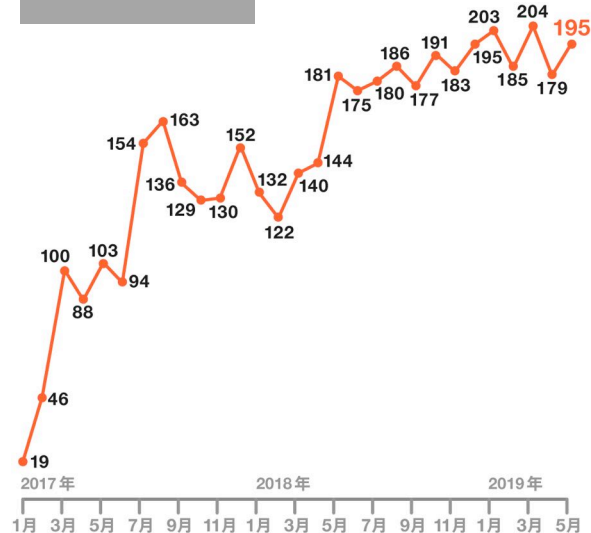
(万人)



※マンガアプリ及び最強シリーズのMAUの各四半期における平均値を採用

マンガアプリの

ARPU



※2017年3月のマンガUP!のARPUを100として指数化
以降は、新規含む複数アプリのARPUの単純平均値を指数化

株式会社小学館と業務提携契約を締結

日本国内屈指の総合出版社である株式会社小学館と業務提携契約を締結し、小学館が保有しているマンガアプリ「サンデーうぇぶり」のフルリニューアル及び今後の運用を当社が手がけることが決定。



© カトウタカヒロ / 小学館 © 井上小春 / 小学館
© 古録るか / 小学館 © 岡田幸士 / 小学館
© 青山剛昌 / 小学館 © 西森博之 / 小学館
© 高橋留美子 / 小学館



小学館発! サンデーうぇぶりの魅力

魅力1 国民的レジェンド作品多数掲載!

魅力2 「サンデーうぇぶり」オリジナル作品も配信中

魅力3 雑誌の定期講読&単行本購入機能も充実!

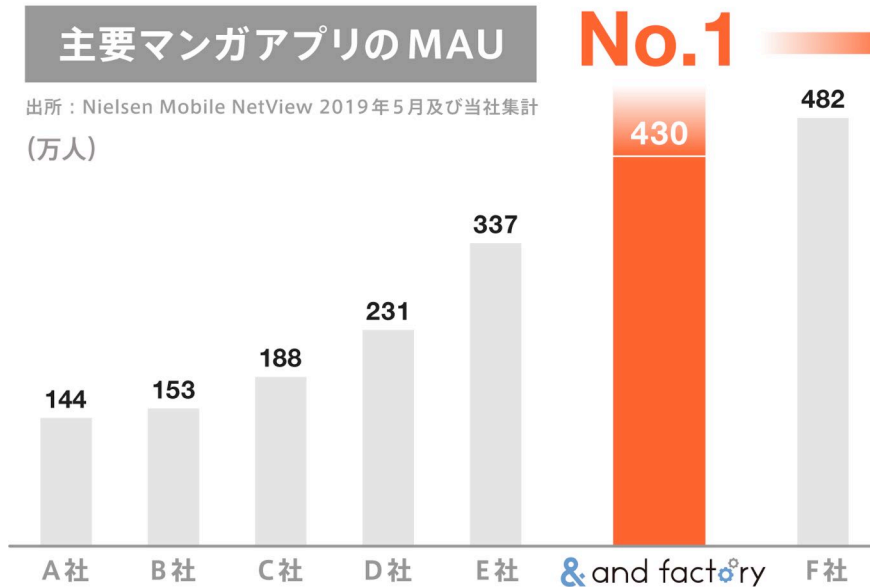


マンガアプリ業界の圧倒的No.1へ

業界No.1に向け、既存アプリの成長と新規アプリの開発の両面を継続的に推進。

主要マンガアプリのMAU

出所：Nielsen Mobile NetView 2019年5月及び当社集計
(万人)



後発ながら
短期間で実績多数!

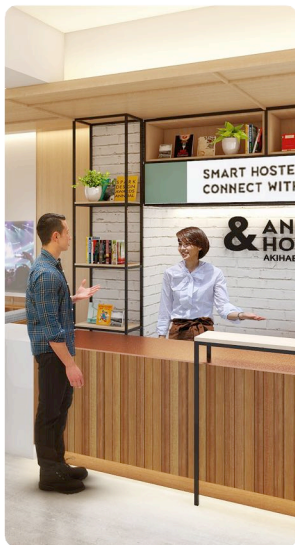


IoT

IoT 提供カテゴリー

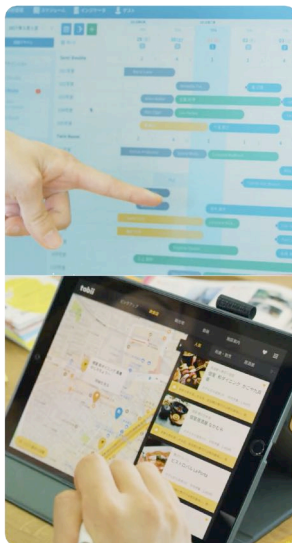
& AND HOSTEL

IoTデバイスが体験できる
スマートホテル
『&AND HOSTEL』



& AND STAY

宿泊管理システム『innto』
客室タブレット『tabii』



& AND IoT

複数のIoTを一括で操作可能
IoTプラットフォーム
『&IoT』



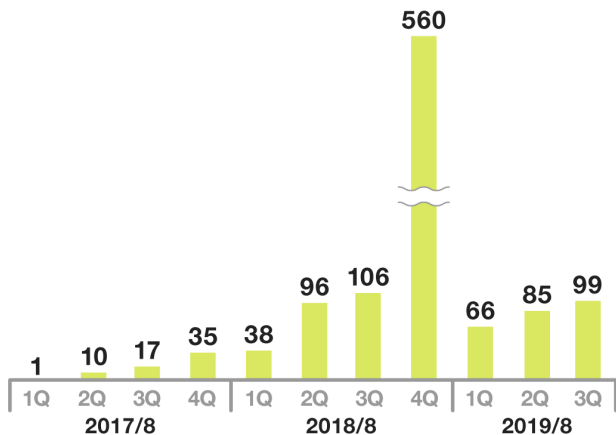
売上高/営業利益推移（四半期）

売上高は前年同期比ほぼ横ばいで着地。3Qもtabii/inntoなど宿泊領域のサービス拡大に向けた投資を継続。

売上高

安定して
収益を確保

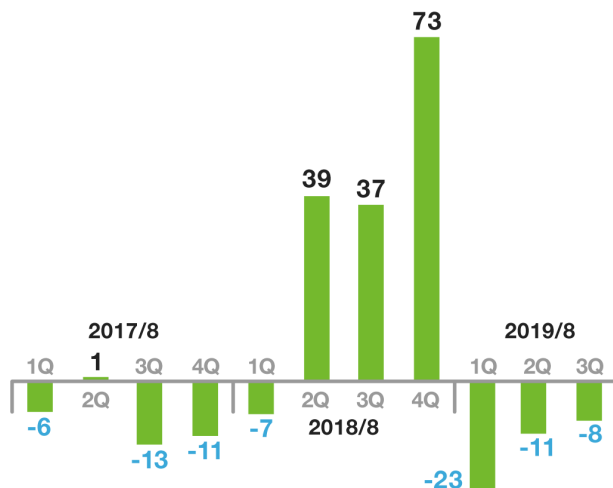
(百万円)



営業利益

前四半期比
で改善

(百万円)



事業ハイライト

大企業を中心としたパートナー企業と連携しながら、着実に展開実績を拡大。変なホテルなどへのtabii導入が進み、導入台数は順調に拡大。

実績

**& AND
HOSTEL**

9 店舗

innto

204 施設

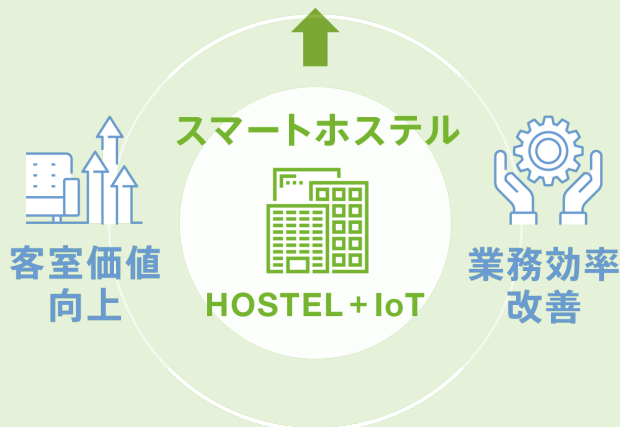
tabii

2,024 台

※&AND HOSTELは2019年8月末までの開業予定店舗を含む
※innto及びtabiiは2019年5月末日の契約締結ベース

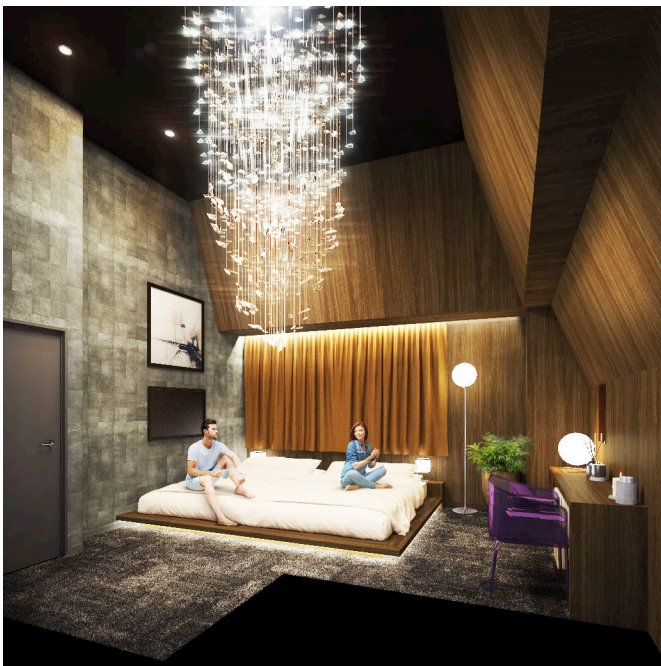
STAY + Technology

ホテルや旅館など宿泊領域を
テクノロジー化



&AND HOSTELが大阪に初進出

関東圏（浅草エリア）を中心に展開していた&AND HOSTELが、大阪に初進出。過去最大規模の&AND HOSTELとして、ラグジュアリーIoTルームなども展開。



AIベンチャー『AIQ株式会社』と業務提携

宿泊関連サービスのユーザーデータを活用した「IoT×AI」連携を見据え、AI領域の初投資先であるAIQ株式会社と業務提携基本契約を締結。将来的には、宿泊に限らず新しい価値の共創を目指す。

AIQ

×

& and factory



Appendix

全社戦略

Smartphone APP



既存領域を成長させ
新領域に着手

既存事業を
土台とした
新領域

攻略

マンガ

IoT



宿泊施設を軸に
展開領域を拡大

注力領域



住宅



宿泊施設



オフィス



商業施設



学校



医療施設

2019年8月期3Q BS増減比較

(百万円)

	2018年8月期末	2019年8月期3Q末	増減比較
流動資産	1,104	3,489	2,385
現金及び預金	672	1,244	572
固定資産	218	389	171
資産合計	1,322	3,878	2,556
流動負債	653	756	103
固定負債	216	1,563	1,347
負債合計	869	2,319	1,450
(有利子負債)	352	1,940	1,588
資本金	34	543	509
資本剰余金	33	542	509
利益剰余金	385	474	89
自己株式	—	0	0
純資産合計	453	1,558	1,105

2019年8月期3Q PL実績

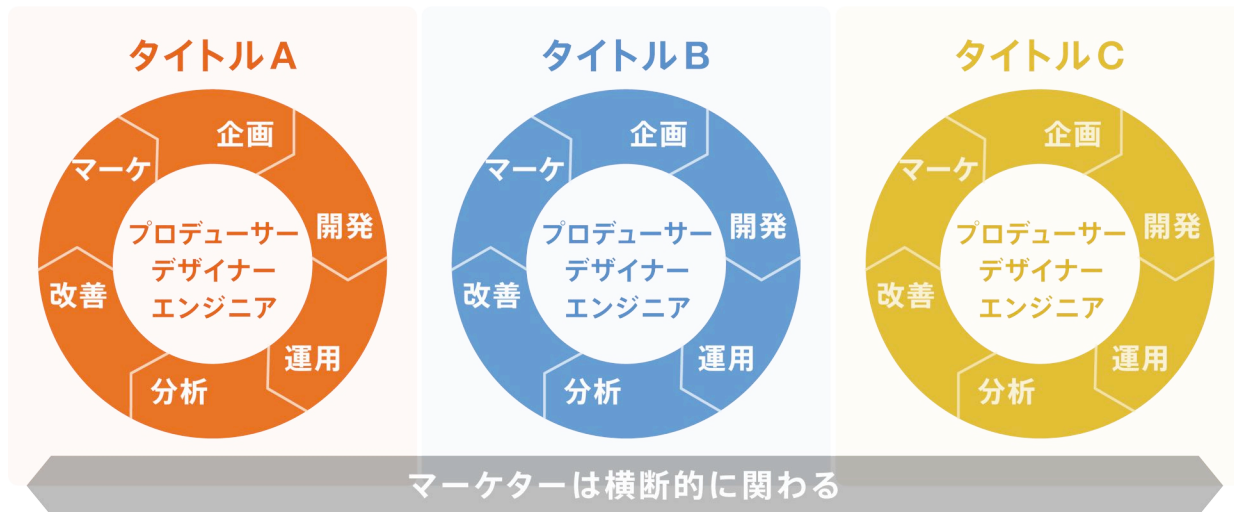
(百万円)

	2018年8月期3Q	2019年8月期3Q	2019年8月期 予想
売上高	1,013	1,531	3,870
売上高成長率	108.7%	51.1%	102.0%
Smartphone APP事業	758	1,228	—
IoT事業	240	250	—
その他事業	15	51	—
営業利益	209	155	511
営業利益率	20.6%	10.1%	13.2%
経常利益	205	130	504
経常利益率	20.2%	8.5%	13.0%
四半期(当期)純利益	133	88	350
四半期(当期)純利益率	13.1%	5.7%	9.0%

※2019年8月期のセグメント別の業績予想は非開示となっております。

アプリの成長に特化した開発体制

タイトルごとの少人数ユニット制で、アプリ制作に必要な職種を全て配置。社内で企画からマーケティングまで全てのフェーズをワンストップで手がけられることが強み。



ディスクレーマー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠していません。